

平成 25 年度

(公社) 日本技術士会東北本部 応用理学部会

定 期 総 会 (年 次 大 会) 資 料

日時：平成 25 年 5 月 16 日 (木) 16 時 00 分～17 時 00 分

場所：株式会社ユアテック 3 階 A 会議室
仙台市宮城野区榴岡 4-1-1

定期総会 (年次大会) 次 第

1. 定期総会 (年次大会) 議事 16 時～17 時

(1) 開会宣言

(議長選出)

(2) 議事

- ①平成 24 年度活動報告
- ②平成 24 年度会計報告
- ③監査報告
- ④役員改選
- ⑤規約改正
- ⑥平成 25 年度活動計画 (案)
- ⑦平成 25 年度会計予算 (案)
- ⑧その他

(3) 閉会宣言

2. 意見交換会 17 時 30 分～19 時 30 分

場所： だんまや水産 仙台駅前店

会費： 4,000 円 (予定)

1. 平成 24 年度活動報告

1.1 部会会員数

東北本部応用理学部会 正会員 82 名 (平成 24 年 3 月現在)

1.2 活動報告

①定期総会：平成 24 年 5 月 18 日(金)14 時～15 時

特別講演 15 時～17 時

講師：横山隆三氏 (株)横山空間情報研究所)

演題：「新しい地理空間情報“立体地形解析図”の利活用」

意見交換会：レストラントップ；17 時 15 分～19 時 15 分

会費 4,000 円

②平成 24 年度見学会：参加者 15 名

テーマ：東北の地熱発電

日時：平成 24 年 11 月 8 日(木)～9 日(金)

見学場所：松川地熱発電所や地熱調査企業

案内：地熱エンジニアリング(株)、東北水力地熱(株)

参加費：会員・非会員とも 4,000 円

盛岡駅集合・解散、交通費、宿泊費は各自負担。

③研修会：参加者 15 名(講師除く)

テーマ：「震災後の沿岸岩礁環境の回復～うに井の今後～」

日時：平成 24 年 12 月 7 日(金) 15:00～17:00

場所：ユアテック会議室

仙台市宮城野区榴岡4丁目1番1号

講師：吾妻行雄氏 東北大学大学院農学研究科 教授

参加費：会員・非会員・一般 1000 円

意見交換会：4000 円

④役員会 平成 24 年 4 月 20 日(金)、5 月 18 日(金)、6 月 8 日(金)、7 月 27 日(金)、9 月 14 日(金)、10 月 19 日(金)、12 月 7 日(金)、2 月 15 日(金)

⑤東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

東北福祉大学ボランティア支援室主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」：委員 守屋監事

⑥ 技術サロン：3回開催（土曜日午後開催）

・仙台市泉区中央市民センター、仙台市シルバーセンター

会費 1000 円/回(第 2 回は一般・子供対象で 500 円)

6/9, 8/18, 10/20 実施

・第 1 回 平成 24 年 6 月 9 日（土）13 時 30 分～16 時 7 名参加

1) 日本地球惑星連合 2012 年大会報告

滝田良基氏 部会長

2) H23.3.11 東日本大震災の住吉町アンケート結果

—これからの石巻市住吉町の防災・減災にむけて—

中里俊行氏（副部会長、(有)ジオテクノ中里産業）

・第 2 回 平成 24 年 8 月 18 日（土）13 時 30 分～16 時、一般 11 名参加その他気象台、気象協会多数参加。

夏休みお天気講座～大雨から身を守るために～

1) 講座「局地的大雨から身を守るために」

（講師：杉山公利氏：日本気象予報士会東北支部 支部長）

2) 観測機器と災害パネルの説明（高橋恵美子氏：仙台管区気象台）

3) 簡易雨量計を作ろう（NPO 法人 防災・減災サポートセンター）

4) 土石流実験（協力、岩手大学農学部）

第 2 回技術サロンは、NPO 法人 防災・減災サポートセンターと共催し、仙台管区気象台、日本気象協会東北支部、岩手大学農学部の協力を得て、一般市民、特に小学生を対象として実施した。

・第 3 回 平成 24 年 10 月 20 日（土）15 時～18 時 9 名参加（講師含む）

1) 地熱調査のよもやま話（2）～11/8-9 の現場見学会に向けて～

黒墨秀行氏（副部会長、(株)総合土木コンサルタンツ）

2) 『東京スリバチ地形の魅力と仙台地形散歩のすすめ』

皆川典久氏（鹿島建設(株)、東京スリバチ学会会長）

2. 平成24年度会計報告

応用理学部会 平成24年度 会計決算(案)

	決 算	H24年度予算	対 比
総収入	386,175	819,678	△ 433,503
総支出	354,724	770,000	△ 415,276
繰越金	31,451	59,672	△ 28,221

【収入の部】

科 目	決 算	H24年度予算	対 比	摘 要	
H23年度繰越金	H23年度繰越金	59,672	59,672	0	
本部交付金	本部交付金	90,000	90,000	0	86,625(印刷代)+3,375現金
	小 計	149,672	149,672	0	
事業収入	総 会	0	60,000	△ 60,000	
	見 学 会	126,000	360,000	△ 234,000	協力会金3万参加費意見交換会
	技 術 サ ロ ン	20,500	40,000	△ 19,500	3回開催、会費1,000円 お天気講座会費
	研 修 会	15,000	70,000	△ 55,000	参加費15名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	40,000	△ 40,000	
	パンフレット頒布金	75,000	100,000	△ 25,000	NPO防災・減災サポートセンター
雑収入	雑 収 入	3	6	△ 3	銀行利息
	小 計	236,503	670,006	△ 433,503	
総収入		386,175	819,678	△ 433,503	

【支出の部】

科 目	決 算	H24年度予算	対 比	摘 要	
事業費	総 会	40,560	94,000	△ 53,440	謝礼、往復ハガキ、会場費、懇親会1名
	見 学 会	131,864	360,000	△ 228,136	意見交換会・昼食代・バス代
	技 術 サ ロ ン	31,061	40,000	△ 8,939	3回開催、会場費ほか シルバーセンター会場費付常設設備費冷房
	研 修 会	32,079	80,000	△ 47,921	謝礼、ほか
	地震防災WG活動		10,000	△ 10,000	
	パンフレット印刷費	86,625	140,000	△ 53,375	パンフレット印刷代
	小 計	322,189	724,000	△ 401,811	
管理費	会 議 費	6,700	20,000	△ 13,300	幹事会会場費
	通 信 費	25,320	25,000	320	HP管理費
	事 務 雑 費	515	1,000	△ 485	振込料
	予 備 費	0	0	0	
	小 計	32,535	46,000	△ 13,465	
総支出		354,724	770,000	△ 415,276	

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示


3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成 24 年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成 25 年 4 月 20 日

(公社) 日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 守屋 資郎 

4. 役員改選

平成 25 年度 応用理学部会役員名簿(案)

役職	氏名	所属	H25 担当	備考
部会長	滝田良基	(株)ニュージェック		
副部会長	中里俊行	(有)ジオテクノ中里産業		
副部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	岩手	
代表幹事	今野隆彦	(有)ジオプランニング	総務・会計	
幹事	尾崎裕司	日本工営(株)	広報	
幹事	押見和義	(株)復建技術コンサルタント		
幹事	谷藤允彦	新協地水(株)	福島	
幹事	新沼正彦	(株)東北基礎調査	青森	
幹事	本田忠明	NPO 法人 防災・減災 SC	総務・会計	
幹事	三苫 寛	ジオテックコンサルタンツ(株)	秋田	
幹事	守屋資郎	A T S (株)		
監事	中村光作	(株)新和調査設計		

5. 規約改正

公益社団法人化に伴い、規約を改正する。

内容は、(公社)日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約 (案) (後掲) のとおり。

6 . 平成 25 年度 活動計画 (案)

- ① 平成 25 年度定期総会 (年次大会) : 平成 25 年 5 月 16 日 (木)
定期総会 (年次大会) 16 時～17 時
意見交換会 だんまや水産仙台駅前店 17 時 30 分～19 時 30 分
会費 4,000 円

- ② 平成 25 年度研修会
テーマ:環境、エネルギー、除染関連
日時:平成 25 年秋季

- ③ 平成 25 年度見学会:平成 25 年 9 月～10 月上旬
テーマ:復興関連事業 (道路、港湾、被災状況等)

- ④ 役員会
平成 25 年 4 月 19 日 (金)、5 月 16 日 (木)、**6 月 14 日 (金)**、**8 月 9 日 (金)**、
9 月 13 日 (金)、**10 月 11 日 (金)**、11 月 8 日 (金)、**12 月 13 日 (金)**、
2 月 14 日 (金)
(太字は技術サロン開催予定日)

- ⑤地震防災 WG
震災対策技術展協力

- ⑥東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動
ボランティア支援室主催
「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」:委員 守屋氏

- ⑦ 技術サロン:4 回開催・・・市民センター他の公共施設
6 月～12 月隔月第 2 金曜日;18:00～20:30
会費 1000 円/回
6/14, 8/9, 10/11, 12/13 開催予定

7. 平成 25 年度 会計予算 (案)

応用理学部会 平成25年度 会計予算(案)

	H25年度予算	H24年度決算	対比
総収入	291,454	386,175	△ 94,721
総支出	259,700	354,724	△ 95,024
繰越金	31,754	31,451	303

【収入の部】

科目	H25年度予算	H24年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	H24年度繰越金	31,451	59,672	△ 28,221	
本部交付金	本部交付金	90,000	90,000	0	
	小計	121,451	149,672	△ 28,221	
事業収入	定期総会(年次大会)	0	0	0	交流会費
	見学会	60,000	126,000	△ 66,000	参加費3,000円×20名
	技術サロン	40,000	20,500	19,500	4回開催、会費1000円
	研修会	30,000	15,000	15,000	参加費30名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	40,000	75,000	△ 35,000	NPO防災・減災サポートセンター
雑収入	雑収入	3	3	0	
	小計	170,003	236,503	△ 66,500	
総収入		291,454	386,175	△ 94,721	

【支出の部】

科目	H25年度予算	H24年度決算	対比	摘 要	
事業費	定期総会(年次大会)	16,180	40,560	△ 24,380	案内はがきほか
	見学会	100,000	131,864	△ 31,864	謝礼、宿泊費、バス代ほか
	技術サロン	40,000	31,061	8,939	4回開催、会場費ほか
	研修会	65,000	32,079	32,921	謝礼、交流会会費ほか
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	パンフレット印刷費	0	86,625	△ 86,625	
	小計	226,180	322,189	△ 96,009	
管理費	会議費	7,200	6,700	500	役員会会場費
	通信費	25,320	25,320	0	HP管理費
	事務雑費	1,000	515	485	
	予備費	0	0	0	
	小計	33,520	32,535	985	
総支出		259,700	354,724	△ 95,024	

注) 対比は前年決算を基準として示した。

対比 = (H24 予算) - (H23 決算) マイナスは△で表示

以上

(公社) 日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約 (案)

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第 6 条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べるができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する(部会員の連絡

事項を含む。)

4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を招集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。
5. 定期年次大会及び臨時大会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。
2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集

4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。